



もちつきだいすき

伊勢崎市立名和小学校 1年 福田 悠乙香

わたしのいえには、いちねんじゅうおもちがあります。かぞくぜんいんおもちがすきだからです。わたしは、おもちのもちもちしたところがすきです。いちばんすきなたべかたは、おしるこです。あまくておいしいし、あんこもすきだからです。

わたしは、ようちえんでもちつきをしたことがあります。そのとき、おおきくてどっしりしたうすと、おもそうなきねをはじめてみました。わたしたちがつかうきねは、おもいきねではなく、こどもよのちいさいきねでしたが、それでもねんちゅうのときはひとりでもてなくて、せんせいにてつだってもらいました。ねんちょうでは、ちからがついて、ひとりでもてるようになり、うれしかったです。きねをちからいっぱいもちあげて、まんなかをねらって

「ペタン、ペタン。」

きいたことがない、たのしいおとがしました。まっしろで、つぶつぶがなくなってきたおもちはおいしそうで、はやくたべたいきもちでいっぱいでした。

おもちは、おてつだいのおかあさんたちがしょうゆもちときなこもちにしてくれて、わたしたちは、ひとりにこずつだいふくをつくりました。それをおひるにたべたら、とてもおいしくて、しあわせなきもちになりました。だいふくがさいこうだったけど、しょうゆもちときなこもちもおいしくて、たくさんおかわりしました。

わたしは、これからももちつきをしたいです。いえにはうすやきねがないけれど、こどものもりこうえんやぐんまこんちゅうのもりなど、もちつきをたいけんできるところがあるので、ぜひいきたいです。そのときは、まわりのひとときょうりよくして、たのしみたいです。そして、もちつきのたのしさを、わたしもだれかにつたえたいとおもいます。